

資料編 調査票

## 青少年の薬物乱用に関する調査

平成 21 年 12 月

調査企画：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

青少年環境整備担当

「覚せい剤や大麻<sup>たいま</sup>など、医薬品や医療目的にない薬物を不正に使用することを『薬物の乱用』といいます。」

### <薬物問題への関心>

Q 1. 薬物の乱用に関する問題を「薬物問題」といいます。あなたは、薬物問題について関心がありますか。次の中から 1 つだけお選びください。

1. 非常に関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. ほとんど（全く）関心がない

■ Q 2 は、Q 1 で 1～2 をお選びの、関心のある方にお聞きします。

Q 2. あなたが、薬物問題について関心がある理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。 複数選択可

1. 市民生活の安全の基本にかかわる問題
2. 薬物の乱用者が増えると不安
3. 青少年の健全<sup>けんぜん</sup>育成に悪影響がある
4. 周辺に薬物を乱用している人がいる
5. マスコミなどで話題になることが多い
6. 薬物に関して興味を持っている
7. その他
8. 特に理由はない

■Q3は、Q1で3～4をお選びの、関心がない方にお聞きします。

Q3. あなたが、薬物問題について関心がない理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。 複数選択可

1. 薬物乱用が拡大しても市民生活の安全は脅かされない
2. 薬物が市民生活に広がっているという恐れを感じられない
3. 自分とは関係のない問題
4. 薬物問題についてよく知らない
5. 薬物の使用は個人の自由
6. その他
7. 特に理由はない

#### <薬物についての見聞き>

■全員にお聞きします。

Q4. あなたは、薬物に関する次のことについて、見たり、聞いたりしたことがありますか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 薬物の名前や形、使い方など
2. 薬としての働き（薬理作用）について
3. 薬物の心身に及ぼす弊害や中毒について
4. 薬物密売人や密輸組織について
5. 薬物犯罪の発生や取締りについて
6. 薬物乱用者による殺人、放火、強盗・窃盗などの二次犯罪について
7. 薬物乱用による死亡、交通事故等の事故について
8. 青少年の薬物乱用について
9. 薬物中毒者の治療と社会復帰のための支援について
10. その他
11. 見たことも聞いたこともない

■Q5は、Q4で1～10をお選びの、薬物に関して見たり聞いたりしたことのある方にお聞きします。

Q5. 薬物に関することを見たり聞いたりしたのは、何によってですか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 新聞
2. テレビ、ラジオ
3. 映画、ビデオ、DVD
4. インターネット
5. 携帯電話
6. 本、雑誌
7. ポスター、パンフレット
8. 学校の授業、薬物乱用防止教室
9. 国や地方自治体などの広報誌
10. 講演会、座談会など
11. 友人、同僚、先輩や後輩などとの会話
12. 見知らない人との会話
13. 家族との会話
14. その他
15. 覚えていない・わからない

#### <薬物に対する認識>

■全員にお聞きします。

Q6. 最近、乱用が問題になっている薬物について、あなたが知っている名前がありましたら、次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 覚せい剤 (エス、スピード、シャブ) | 11. あへん           |
| 2. 大麻樹脂 (ハシッシュ)       | 12. 向精神薬 (ハルシオン等) |
| 3. 乾燥大麻 (マリファナ)       | 13. シンナー          |
| 4. ヘロイン               | 14. トルエン          |
| 5. コカイン               | 15. ガspan (ブタンガス) |
| 6. MDMA (エクスタシー)      | 16. その他           |
| 7. MDA (ラブドラッグ)       | 17. 知っているものはない    |
| 8. LSD                |                   |
| 9. マジック・マッシュルーム       |                   |
| 10. 5-MeO-DIPT (ゴメオ)  |                   |

■ Q 7は、Q 6で1をお選びの、覚せい剤を知っている方にお聞きします。

Q 7. あなたは、覚せい剤についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 非常に恐ろしいものだと思う
2. どちらかといえば恐ろしいものだと思う
3. あまり恐ろしいものとは思わない
4. 全然恐ろしいものとは思わない

■ Q 8は、Q 7で1～2をお選びの、覚せい剤を恐ろしいと思う方にお聞きします。

Q 8. あなたが、覚せい剤を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 中毒で心や体がむしばまれる
2. 急性中毒で死亡する恐れがある
3. 1回でも使うとやめられなくなる
4. 犯罪に巻き込まれる
5. 使ったり、所持<sup>しよじ</sup>することは犯罪
6. 乱用者が殺人、窃盗<sup>せつとう</sup>、暴行<sup>ぼうこう</sup>などの二次犯罪を起こす
7. その他
8. 特に理由はない

■ Q 9は、Q 6で2～3をお選びの、大麻<sup>たいま</sup>樹脂<sup>たいまじゅし</sup>、乾燥大麻<sup>たいま</sup>を知っている方にお聞きします。

Q 9. あなたは、大麻<sup>たいま</sup>（大麻樹脂<sup>たいまじゅし</sup>、乾燥大麻<sup>たいま</sup>）についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 非常に恐ろしいものだと思う
2. どちらかといえば恐ろしいものだと思う
3. あまり恐ろしいものとは思わない
4. 全然恐ろしいものとは思わない

■ Q10は、Q 9で1～2をお選びの、大麻<sup>たいま</sup>を恐ろしいと思う方にお聞きします。

Q10. あなたが、大麻<sup>たいま</sup>を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 中毒で心や体がむしばまれる
2. 急性中毒で意識障害などをおこす恐れがある
3. 1回でも使うとやめられなくなる
4. 犯罪に巻き込まれる
5. 所持<sup>しよじ</sup>することは犯罪
6. 乱用者が殺人、窃盗<sup>せつとう</sup>、暴行<sup>ぼうこう</sup>などの二次犯罪を起こす
7. その他
8. 特に理由はない

■Q11は、Q6で6をお選びの、MDMA（エクスタシー）を知っている方にお聞きします。

Q11. あなたは、MDMA（エクスタシー）についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 非常に恐ろしいものだと思う
2. どちらかといえば恐ろしいものだと思う
3. あまり恐ろしいものとは思わない
4. 全然恐ろしいものとは思わない

■Q12は、Q11で1～2をお選びの、MDMA（エクスタシー）を恐ろしいと思う方にお聞きします。

Q12. あなたが、MDMA（エクスタシー）を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 中毒で心や体がむしばまれる
2. 急性中毒で死亡する恐れがある
3. 1回でも使うとやめられなくなる
4. 犯罪に巻き込まれる
5. 使ったり、所持<sup>しよじ</sup>することは犯罪
6. 乱用者が殺人、窃盗<sup>せつとう</sup>、暴行<sup>ぼうこう</sup>などの二次犯罪を起こす
7. その他
8. 特に理由はない

#### <薬物乱用に関する意識>

■全員にお聞きします。

Q13. あなたは、薬物を乱用することについて、どう思いますか。次の中から最も気持ちに近いものを1つだけお選びください。

1. どのような薬物であろうと、どのような理由であろうと絶対にいけない
2. 一回くらいであれば体に害はなさそうなので、いいのではないか
3. 他人に迷惑をかけなければ個人の自由である

Q14. もし、仮に、あなたが、薬物を乱用することを誰かに誘われたとしたら、どのように感じると思いますか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 誘った相手が誰であろうと、どのような薬物であろうと断る
2. 誘った相手によっては、断りきれないかもしれない
3. 有害性<sup>ゆうがいせい</sup>や危険性の少なそうな薬物であれば断らないかもしれない
4. 一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない
5. 好奇心<sup>こうきしん</sup>や面白半分から断らないかもしれない
6. 悩み事があつたり、疲れていたりしたら断らないかもしれない
7. その他

Q15. あなたは、いままでに、一度でも薬物を使ってみたいと思ったことがありますか。

1. ある
2. ない

■Q16は、Q15で1をお選びの、あるとお答えの方にお聞きします。

Q16. あなたが、薬物を使ってみたいと思った理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。 複数選択可

1. 好奇心
2. 面白半分
3. 疲れをいやすため
4. ダイエットのため
5. 友達との連帯意識
6. 学校が面白くないから
7. 家庭が面白くないから
8. 仕事が面白くないから
9. 友人にすすめられたから
10. 恋人にすすめられたから
11. 知人にすすめられたから
12. 日本人の密売人にすすめられたから
13. 外国人の密売人にすすめられたから
14. 本、雑誌などの情報で薬物に興味を持ったから
15. インターネットの情報で薬物に興味を持ったから
16. その他
17. 特に理由はない

#### <薬物乱用の実態>

■全員にお聞きします。

Q17. ここ3年くらいの間に、あなたの周囲で薬物を使っている人がいるようなことを見たり聞いたりしたことがありますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 1年以内に見聞きしたことがある
2. 1年以上前に見聞きしたことがある
3. 1年以内にも1年以上前にも見聞きしたことがある
4. 見聞きしたことはない

<学校での薬物乱用防止教育>

Q18. あなたは、これまで学校で、薬物乱用防止について学んだことがありますか。

1. ある
2. ない

■Q19～Q21は、Q18で1をお選びの、学んだことがある方にお聞きします。

Q19. 学校ではどのような種類の薬物について学びましたか。次の中から、学んだ薬物をいくつかでもお選びください。複数の学校や学年で学んだことがある場合は、あてはまるものをすべてお選びください。 複数選択可

1. 覚せい剤 (エス、スピード、シャブ)
2. 大麻樹脂 (ハシッシュ)
3. 乾燥大麻 (マリファナ)
4. ヘロイン
5. コカイン
6. MDMA (エクスタシー)
7. MDA (ラブドラッグ)
8. LSD
9. マジック・マッシュルーム
10. 5-MeO-DIPT (ゴメオ)
11. あへん
12. 向精神薬 (ハルシオン等)
13. シンナー
14. トルエン
15. ガスパン (ブタンガス)
16. その他
17. 覚えていない・わからない

Q20. 学校で、薬物乱用防止について教えてくれたのは誰ですか。次の中からあてはまる人をすべてお選びください。複数選択可

1. 学校の先生
2. 警察関係者、麻薬取締官とりしまりかんなど
3. 医師や薬剤師などの医療専門家
4. 青少年育成や薬物乱用防止教育の専門家
5. 回復した薬物体験者
6. その他
7. 覚えていない・わからない



Q21. 薬物乱用防止について、学校で学んだことは、あなたの現在の認識や意識に影響を与えていますか。

1. 非常に影響を受けている
2. ある程度影響を受けている
3. あまり影響を受けていない
4. ほとんど影響を受けていない

<学校以外での薬物乱用防止教育・啓発<sup>けいはつ</sup>>

■全員にお聞きします。

Q22. あなたは、学校以外で、薬物乱用防止について、学んだり啓発<sup>けいはつ</sup>を受けたことがありますか。学んだ場所や啓発<sup>けいはつ</sup>の方法について、あてはまるものをいくつでもお選びください。複数選択可

1. 家庭
2. 職場
3. 公民館、PTA、自治会などによる講習会
4. 保健所、病院、医療機関などによる講習会
5. 自治体や警察などによる講習会
6. 国や地方自治体などの広報誌
7. 街頭<sup>がითう</sup>キャンペーン
8. 新聞
9. テレビ、ラジオ
10. 本、雑誌
11. インターネット
12. ポスター
13. パンフレット、リーフレット
14. 薬物乱用防止キャラバンカー
15. その他
16. 受けたことはない
17. 覚えていない・わからない

■Q23は、Q22で1～15をお選びの、学校以外で学んだことがある方にお聞きします。

Q23. 薬物乱用防止について、学校以外で学んだり啓発<sup>けいはつ</sup>を受けたことは、あなたの現在の認識や意識に影響を与えていますか。

1. 非常に影響を受けている
2. ある程度影響を受けている
3. あまり影響を受けていない
4. ほとんど影響を受けていない

<効果的な薬物乱用防止教育>

■以降の設問は、全員にお聞きします。

Q24. 薬物乱用防止教育を効果的に行うには、どのような場や方法で行うのが有効だと思いますか。次の教育や啓発<sup>けいはつ</sup>の場や方法のうち、あなたが特に有効だと思うものを3つまでお選びください。

3つまで選択可

1. 家庭教育
2. 高等学校までの学校教育
3. 短大・大学での教育や啓発<sup>けいはつ</sup>
4. 職場での教育や啓発<sup>けいはつ</sup>
5. 公民館、PTA、自治会などによる地域での教育や啓発<sup>けいはつ</sup>
6. 保健所、病院、医療機関などによる教育や啓発<sup>けいはつ</sup>
7. 行政や警察による教育や啓発<sup>けいはつ</sup>
8. 新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどの各種メディアを活用した啓発<sup>けいはつ</sup>や教育
9. パンフレットやリーフレットなどを活用した啓発<sup>けいはつ</sup>や教育
10. 教育や啓発<sup>けいはつ</sup>における関係機関<sup>れんけい</sup>の連携
11. その他
12. 特にない
13. わからない

### <薬物に対する知識>

Q25. ここで、もう一度、薬物の心身への影響についてうかがいます。

あなたは、薬物乱用が与える心身への影響についてどのようなことを知っていますか。

次の中から知っていることをいくつでもお選びください。複数選択可

1. 薬物乱用を繰り返すと、依存状態になる
2. 覚せい剤を使用すると、脳の出血や心臓の異常で急性中毒死することがある
3. 覚せい剤を使用すると、イライラして怒りやすくなったり、無意味な同じ動作・行動をくりかえしたり、疑り深くなったりすることがある
4. 覚せい剤の使用を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり、何も聞こえないのに声が聞こえたり、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひこんだりする状態になることがある
5. 大麻を吸うと、現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある
6. 大麻を吸い続けると、わけもなく怯えるようになり、奇妙な動作・行動をとるようになることがある
7. 大麻を吸い続けると、何事にも関心が持てなくなり、学校を欠席しがちになったり、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる
8. MDMA（エクスタシー）を使用すると、意識がおかしくなったり、異常高熱で死亡したりすることがある
9. 「シンナー遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすい
10. 「シンナー遊び」を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなることがある
11. 知っているものはない

### <薬物情勢に関する意識>

Q26. あなたは、我が国の薬物犯罪に関する情勢について、ここ5年くらいの間でどのように変化したと感じていますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 悪化していない
2. あまり悪化していない
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば悪化している
5. 悪化している

### <薬物乱用防止対策>

Q27. あなたは、薬物の乱用を防ぐ対策として、政府にどのような対策に力を入れて欲しいですか。次の中からいくつでもお選びください。複数選択可

1. 暴力団や不良外国人などの密売人の取締りの強化
2. 薬物の密輸入に対する取締りの強化
3. 薬物乱用者に対する取締りの徹底
4. 薬物乱用青少年に対する補導の強化
5. 警察官の数を増やすなどの取締り体制の充実・強化
6. 薬物を乱用した者に対する刑罰を厳しくする
7. 薬物を密輸・密売した者に対する刑罰を厳しくする
8. 国民に対する各種啓発活動の推進
9. 青少年の薬物乱用防止に対する指導や啓発活動の強化
10. インターネットなど各種メディアに対する協力の要請
11. 薬物乱用の実態把握の推進
12. 薬物中毒者の社会復帰や再乱用防止の支援の充実
13. 薬物乱用青少年に対する再乱用防止対策の充実・強化
14. 薬物生産国における薬物問題取組みの支援など国際協力の推進
15. 薬物乱用防止のための研究開発の推進
16. その他
17. 特にない
18. わからない

### <青少年の薬物問題>

これ以降の設問の“青少年”とは30歳未満を指します。

Q28. あなたは、青少年の薬物問題の現状についてどのように感じていますか。次の中から1つだけお選びください。

1. 深刻な問題ではない
2. どちらかといえば深刻な問題ではない
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば深刻な問題である
5. 深刻な問題である

Q29. 青少年が薬物を乱用する原因や理由はどこにあると思いますか。次の中からいくつかでもお選びください。複数選択可

1. 繁華街<sup>はんかがい</sup>などで薬物が密売<sup>みつばい</sup>されるなど青少年でも薬物を入手しやすくなっている
2. インターネットや携帯電話による密売<sup>みつばい</sup>により青少年でも薬物を入手しやすくなっている
3. 出会い系サイトなどを通じて青少年に薬物を与える大人がいる
4. 薬物乱用の恐ろしさについて青少年の認識が不足している
5. 青少年に社会のルールを守ろうという意識が薄れている
6. 家庭で薬物の恐ろしさを取りあげるなどの教育が不十分
7. 社会全般が子どもの非行<sup>ひこう</sup>に無関心になっている
8. 学校での薬物乱用を防止するための教育が不十分
9. 警察などによる青少年の薬物乱用に対する補導<sup>ほどう</sup>、取締り<sup>とりしま</sup>が不十分
10. インターネットなどで簡単に薬物に関する有害<sup>ゆうがい</sup>な情報を手に入れられる
11. 仲間意識などから友人、先輩等の誘いを断れない
12. その他
13. わからない

Q30. あなたは、薬物を乱用した青少年を立直らせるためには、誰の支援が重要だと思いますか。次の中からいくつかでもお選びください。複数選択可

1. 家族
2. 友人
3. 地域社会
4. 学校
5. 警察
6. 保健所などの行政機関
7. 医療機関
8. ボランティア、ボランティア団体
9. その他
10. わからない

Q31. あなたは、青少年を薬物から守る対策として、どのようなことが有効だと思いますか。次の中から特に有効なものを5つまでお選びください。5つまで選択可

1. 家庭で薬物の恐ろしさを取りあげる
2. 学校での薬物乱用防止教育を強化する
3. 薬物乱用に関する相談のための機関、施設を充実する
4. 家庭、学校、地域や関係機関などの連携<sup>れんけい</sup>を強化する
5. 薬物を乱用している青少年の補導<sup>ほどう</sup>、取締り<sup>とりしま</sup>を強化する
6. 暴力団や不良外国人などの密売人<sup>みつばいにん</sup>の取締り<sup>とりしま</sup>を強化する
7. インターネットや携帯電話を利用した密売<sup>みつばい</sup>の取締り<sup>とりしま</sup>を強化する
8. 薬物乱用に対する罰則<sup>ばつそく</sup>を強化する
9. 薬物乱用防止に関する広報啓発<sup>けいはつ</sup>活動を充実する
10. 青少年の健全育成のためにスポーツ、ボランティア活動などを充実させる
11. 出会い系サイトなど青少年の身近に薬物をもたらす有害環境<sup>じょうか</sup>を浄化する
12. インターネットなどに有害な薬物情報をのせないようにする
13. 各種メディアが、いたずらに青少年が薬物に興味をもつこととなるような記事掲載<sup>けいさい</sup>や番組作成に注意する
14. 各種メディアが報道の際、薬物の弊害<sup>へいがい</sup>について取りあげる
15. 薬物を乱用した青少年に対する再乱用の防止対策を充実する
16. その他
17. わからない

<フェイスシート>

F 1. あなたの性別をお選びください。

1. 男性
2. 女性

F 2. あなたは、平成21年12月1日時点で、何歳ですか。

1. 15～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70～79歳

F 3. あなたは学校へ行っていますか。それとも仕事をしていますか。

1. 学校へ行っている
2. 仕事をしている
3. 専業主婦
4. 家事手伝い・無職・その他

■ F 4は、F 3で1をお選びの、学校へ行っている方にお聞きします。

F 4. それはどのような学校ですか。次の中から1つだけお選びください。なお、高等学校や短大・大学などへ行っている場合は、学年をお選びください。

1. 高等学校・高等専門学校1年、中等教育学校4年
2. 高等学校・高等専門学校2年、中等教育学校5年
3. 高等学校・高等専門学校3年、中等教育学校6年
4. 高等専修学校、専門学校
5. 進学予備校
6. 短大・大学1年、高等専門学校4年
7. 短大・大学2年、高等専門学校5年
8. 大学3年
9. 大学4年
10. 大学5年以上・大学院
11. その他

■ F 5は、F 3で2をお選びの、仕事をしている方にお聞きします。

F 5. あなたのご職業は何ですか。

1. 常勤の勤め人（官公庁）
2. 常勤の勤め人（民間企業）
3. 非常勤・パート・アルバイトなどの勤め人
4. 自営業・自由業
5. 家族従業者（家の仕事を手伝っている）
6. その他

■ 全員にお聞きします。

F 6. あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。お子さんがいらっしゃる場合は、あてはまるお子さんの選択肢をすべてお選びください。複数選択可

1. 子どもはいない
2. 小学生以下
3. 中学生
4. 高校生（高等専門学校、進学予備校を含む）
5. 大学生（大学院・短大・専門学校を含む）
6. 学校は卒業した（中退を含む）

F 7. あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。あてはまる選択肢をすべてお選びください。複数選択可

1. ひとり暮らし
2. 配偶者（夫又は妻）
3. あなた又は配偶者の親
4. 子ども（子どもの配偶者を含む）
5. あなた又は配偶者の祖父母
6. 孫
7. 兄弟姉妹
8. その他の親族
9. 親族以外の者

■ F 8 は、F 2 で「15～19歳」、または「20～29歳」とお答えの方にお聞きします。

F 8. 最後にあなたについて伺います。次の1)～10)について、あなたにあてはまるものを、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「どちらともいえない」「ややあてはまる」「あてはまる」の中から、それぞれ1つずつお選びください。

		あては まら ない	あては まら ない や や	い え な い ど ち ら と も	あては ま る や や	あては ま る
ア	少なくとも人並みには、価値のある人間である	1	2	3	4	5
イ	色々な良い素質 <small>そしつ</small> をもっている	1	2	3	4	5
ウ	はいぼくしゃ 敗北者だと思ふことがよくある	1	2	3	4	5
エ	ものごと 物事を人並みには、うまくやれる	1	2	3	4	5
オ	自分には、自慢できるところがあまりない	1	2	3	4	5
カ	自分に対して肯定的 <small>こういてき</small> である	1	2	3	4	5
キ	だいたいにおいて、自分に満足している	1	2	3	4	5
ク	もっと自分自身を尊敬 <small>そんけい</small> できるようになりたい	1	2	3	4	5
ケ	自分は全くだめな人間だと思ふことがある	1	2	3	4	5
コ	何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思ふ	1	2	3	4	5



